

機関番号：14301

研究種目：基盤研究（A）

研究期間：2008年度～2010年度

課題番号：20251003

研究課題名（和文）大陸部東南アジア仏教徒社会の時空間マッピング—寺院類型・社会移動・ネットワーク

研究課題名（英文）Mapping Practices of Theravadins of Mainland Southeast Asia in Time and Space: Temple/Hermitage, Social Mobility and Network.

研究代表者

林 行夫（HAYASHI YUKIO）

京都大学・地域研究統合情報センター・教授

研究者番号：60208634

研究成果の概要（和文）：タイ、ラオス、カンボジア、西南中国（西双版纳・徳宏）での全9調査区画において771寺院の施設構成と位置情報、5500の出家者の移動データを収集し、全データを統合しタイでの移動経年データを地域情報学的手法（Hu2マップシステム、ラティスとオートマトン）で時空間解析し他区画への適応を試みた。文献から寺院と出家者の移動をデータベース化したミャンマーをふくめ地域間比較を可能とする『マッピング・データ集成I』（+1DVD）を作成した。

研究成果の概要（英文）：Both the GPS data concerning a total of 771 temples/hermitages and the historical transition about the mobility of a total 5,500 monks/novices were collected at each research site in Thailand, Laos, Cambodia, Xishuang Banna and De Hong from the FY2008 to 2010. All the data, which will verify the regional and historical differences of types of temple building together with the pattern of ordination and wandering, is fully formatted into the "mapping database" to proceed to further analysis using the Hu2Map and other programs including tracking route map developed by area informatics.

交付決定額

（金額単位：円）

	直接経費	間接経費	合計
2008年度	11,600,000	3,480,000	15,080,000
2009年度	10,400,000	3,120,000	13,520,000
2010年度	10,600,000	3,180,000	13,780,000
年度			
年度			
総計	32,600,000	9,780,000	42,380,000

研究分野：文化人類学、東南アジア大陸部地域研究

科研費の分科・細目：人文学A・地域研究

キーワード：東南アジア大陸部、西南中国、地域情報学、社会移動、上座仏教

1. 研究開始当初の背景

1970-80年代にアジアの地域研究、人類学に多大な貢献をなした上座仏教徒社会の研究は、概ね寺院を共同体の統合要素、出家を社会的慣習とみなすにとどまり、多様な寺院施設の分布や立地要件、出家行動を含む実践との関わりを精査しなかった。国家間の政治文化的葛藤が頻発する現在、相互に密接に絡

む寺院施設と出家行動を、地域を築き地域を繋げる要素として捉えて地域を描きなおす実証的研究が不可欠である。

2. 研究の目的

西南中国を含む東南アジア大陸部上座仏教徒が造営する寺院施設を地域ごとの歴史的な文脈から類型化し、出家行動に焦点をあて

た仏教徒社会の移動、寺院と人の移動が築くネットワークから寺院の立地および宗教実践の時空間的な位相と変異、国家や地域ごとの実践の特徴と動態を解明する。

3. 研究の方法

タイ、ラオス、カンボジア、西南中国（西双版纳・徳宏）に跨がる調査対象国で複数地域（計9地区）を選択し、寺院施設の所在（GPS計測）、来歴、空間構成およびそこに止住する出家者の個人史、過去5年の移動歴に関するデータを悉皆調査で収集、地域情報学の手法を援用したマッピングデータベースとして統合する。

4. 研究成果

- 1) 計9箇所の調査対象区画において寺院施設（全771寺）、出家者（のべ5500人）の来歴、行動にかんする基礎データを収集するとともに寺院施設の構成から葬制の地域的差異を実証するデータ、地域ごとの史的背景にかんする記述データを得た。



図1. 統合データベース

- 2) タイについては1地域で10年間の出家行動の経年変化を追跡できるデータを収集するとともに寺院間ネットワークを築く師弟関係、寺院の本末関係が浮き彫りにされた。

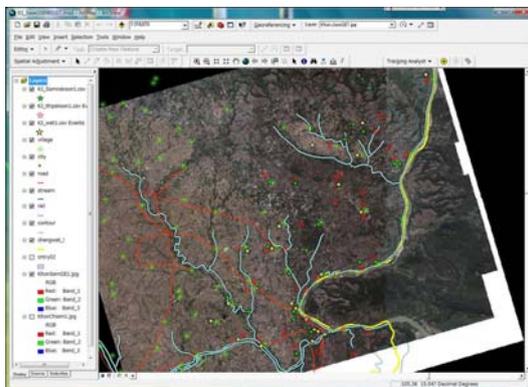


図2. GIS情報による寺院立地(タイ)

- 3) カンボジアでは2地域で経年データを収集するとともに官報（仏語）のデータベース化によって調査資料と歴史資料から地域の宗教教育施設や移動状況が参照可能となった。

- 4) ラオスでは北部、中部、南部の実践の地域差、出家者の動機を明示するデータ、西南中国では西双版纳と徳宏での寺院と出家行動の志向差を実証するデータを収集できた。

- 5) 政情不安により臨地調査が果たせなかったミャンマーは、現地語資料に依拠した寺院（1430）と出家者（675）の関わりを示すデータベースを完成させ、タイとの共同調査でミャンマーからメーソート県に入る出家者と寺院間移動のデータを収集した。

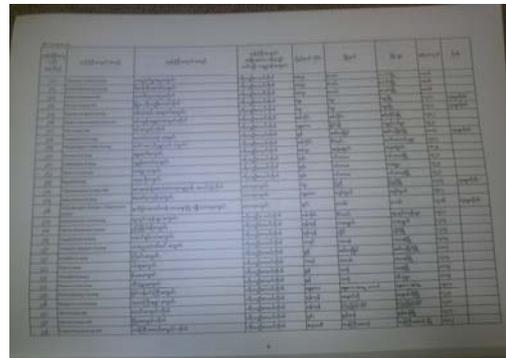


図3. ミャンマー寺院と出家者データ

- 6) 寺院施設と出家者データを統合する位置情報のコード化と移動傾向を解析するフォーマットを整え、タイでの経年データを Hu2 システム、ラティスとオートマトンで時空間解析し他区画への適応を試みた。文献資料から寺院と出家者の移動も同一フォーマットでデータベース化し、全区画の地域間比較を可能とする『マッピング・データ集成 I』（+1DVD）を作成した。



図4. 成果のデータ集成とDVD

Monk's Mobility on Automaton Analysis

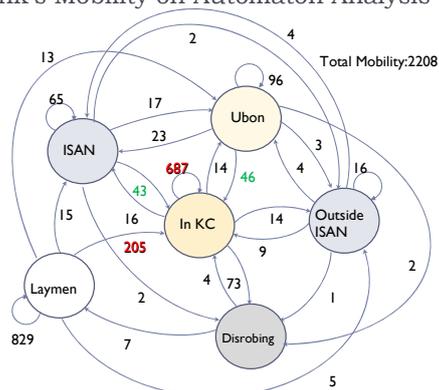


図5. オートマトン分析による出家行動

5. 主な発表論文等

(研究代表者、研究分担者及び連携研究者には下線)

[雑誌論文] (計 40 件)

- (1) 林 行夫、「東南アジア上座仏教徒の世界」静と動の仏教—スリランカ・東南アジア (新アジア仏教史 4)、佼成出版社、査読有、2011、pp 19-62.
- (2) 林 行夫、「東南アジア大陸部地域における『タイ仏教』—現代アジア仏教の理解にむけて」龍谷大学アジア仏教文化研究センター (編)『アジア諸地域における仏教の多様性とその現代的可能性の総合的研究 (文部科学省私立大学戦略的研究基盤形成支援事業 2010 年度～2014 年度)—2010 年度研究報告書』龍谷大学アジア仏教文化研究センター、2011、pp179-188.
- (3) 林 行夫、「年表 (スリランカ・東南アジア)」静と動の仏教—スリランカ・東南アジア (新アジア仏教史 4)、佼成出版社、査読有、2011、pp452-472.
- (4) 土佐 桂子、「予言・運・くじ—「紛争」の地における未来を紡ぐ方法」西井涼子 (編)『時間的人类学—情動・自然・社会空間』世界思想社、2011、p. 383-408.
- (5) 土佐 桂子、「パゴダと仏教のフェティシズム」床呂郁哉・河合香吏編『もの的人类学』京都大学学術出版会、査読有、2011、pp177-182.
- (6) 長谷川 清、小島 敬裕、「西南中国におけるパーリ仏教」静と動の仏教—スリランカ・東南アジア (新アジア仏教史 4)、佼成出版社、査読有、2011、324-381.
- (7) 高橋 美和、「女性と仏教寺院」静と動の仏教—スリランカ・東南アジア (新アジア仏教史 4)、佼成出版社、査読有、2011、415-449.
- (8) 高橋 美和、「カンボジア—喪失と再生の物語」、挑戦するアジアの仏教—アジア各

国の歴史といま、法蔵館、査読有、2011、88-98.

- (9) 笹川 秀夫、「カンボジア—内戦の傷跡、復興の明暗」清水一史、田村慶子、横山豪志 (編)『東南アジア現代政治入門』ミネルヴァ書房、査読無、2011、pp167-189.
- (10) 小林 知、吉田 香世子、「カンボジアとラオスの仏教」静と動の仏教—スリランカ・東南アジア (新アジア仏教史 4)、佼成出版社、査読有、2011、266-322.
- (11) 柴山 守、「時空間概念に基づく地域・歴史事象の写像と知識獲得—地域情報学の視点から見る歴史知識学—」人工知能学会誌、査読有、25 (1)、2010、pp42-49.
- (12) 長谷川 清、「中国・雲南—ミャンマー境域に住むタイ族の仏教」木村文輝 (編)『挑戦する仏教—アジア各国の歴史といま—』法蔵館、査読有、2010、99-114.
- (13) 小島 敬裕、「中国雲南省における徳宏タイ族の宗教と社会—国境地域の仏教徒の実践をめぐる—」、京都大学大学院アジア・アフリカ地域研究研究科提出博士論文、査読有、2010.
- (14) 林 行夫、「東北タイとラオスを結ぶ人々の轍」をちち (遠近)、査読有、Vol. 30、2009、pp28-30.
- (15) Tosa, K. “The Cult of Thamanya Sayadaw: The Social Dynamism of a formulating Pilgrimage Site”, *Asian Ethnology* (Special Issue: Power, Authority and Contested Hegemony in Burmese-Myanmar Religion), 査読有、68(2)、2009、pp240-264.
- (16) 長谷川 清、「双語文教育と民族的アイデンティティ—中国雲南省西双版纳、タイ族の事例」言語と文化、査読有、Vol.21、2009、pp60-88.
- (17) 長谷川 清、「人の移動と宗教の浸透、ネットワークの諸相—雲南・ビルマルート事例」民博通信、査読無、Vol.126、2009、pp7-9.
- (18) 高橋 美和、「出家と在家の境域—カンボジア仏教寺院における俗人女性修行者」、〈境域〉の実践仏教—大陸部東南アジア地域と宗教のトポロジー、京都大学学術出版会、査読有、2009、pp359-604.
- (19) Shibayama, M. “Hanoi’s Urban Transformation in the 19th and 20th Centuries: An Area Informatics Approach”, *Journal of Southeast Asian Studies*, 査読有、Vol. 46, No. 4, 2009, pp496-518.
- (20) Ho Dinh Suan and Shibayama, M. “Studies on Hanoi Urban Transition Late 20th Century Based on GIS/RS”, *Journal of Southeast Asian Studies*, 査読

- 有, Vol. 46, No. 4, 2009, pp532-540.
- (21) Surat Lertluml and Shibayama, M. “Application of Geo-Informatics for Cultural Studies in the Southeast Asia: Royal Road from Angkor to Phimai”, *Journal of Southeast Asian Studies*, 査読有, Vol. 46, No. 4, 2009, pp541-553.
- (22) 柴山 守, 「地域情報学—地域研究と情報学の新たな地平—序論」東南アジア研究、査読有、Vol. 46, No. 4, 2009, pp481-491.
- (23) 柴山 守, 米澤 剛, 「ハノイ・プロジェクト:GISによる都市形成過程の復原」情報処理学会研究報告、査読有、Vol. 2009, No. 13, 2009, pp180-188.
- (24) 柴山 守, 米澤 剛, 「ハノイの地形と水文環境—3次元都市モデルの構築—」情報処理学会研究報告、査読有、Vol. 2009, No. 13, 2009, pp189-195.
- (25) 原 正一郎, 関野 樹, 久保 正敏, 柴山 守, 「地域研究支援のための時空間情報処理ツールの構築」情報処理学会人文科学とコンピュータシンポジウム論文集、査読有、Vol. 2009, No. 12, 2009, pp73-80.
- (26) 笹川 秀夫, 「「伝統」としてのカンボジアの宮廷舞踊と影絵芝居」高松晃子(編)『日本学術振興会人文・社会科学振興プロジェクト研究事業 平成20年度研究報告—伝統から創造へ3』日本学術振興会人文・社会科学振興プロジェクト研究事業「伝統と越境—とどまる力と越え行く流れのインタラクション」「芸術文化における〈伝統的なもの〉」グループ刊、査読無、2009, pp7-19.
- (27) 笹川 秀夫, 「東南アジア」山川出版社編集部(編)『世界各国便覧』新版世界各国史 28, 山川出版社、査読無、2009, pp17, 22, 29, 31, 43-44, 46-49, 53.
- (28) 笹川 秀夫, 「植民地期のカンボジアにおける対仏教政策と仏教界の反応」京都大学グローバルCOEプログラム「生存基盤持続型の発展を目指す地域研究拠点」ワーキングペーパー、Area Studies No. 85 (G-COE Series, No. 83)、2009、査読無、pp27.
- (29) 小林 知, 「雨はどうして降るか」『クルンテープ』タイ国日本人会、査読無、Vol. 17, 2009, pp2-3.
- (30) 小林 知, 「雨安居の仏教文化」『クルンテープ』タイ国日本人会、査読無、Vol. 17, 2009, pp3-4.
- (31) 小島 敬裕, 「中国雲南省徳宏州における上座仏教—戒律の解釈と実践をめぐって」パーリ学仏教文化学、査読有、Vol. 23, 2009, pp21-39.
- (32) 小島 敬裕, 「現代ミャンマーにお

- ける仏教の制度化と〈境域〉の実践」、『〈境域〉の実践宗教—大陸部東南アジア地域と宗教のトポロジー』京都大学学術出版会、査読有、2009, pp67-130.
- (33) 土佐 桂子, 「軍政下の宗教政策と宗教をめぐる状況」アジ研ワールド・トレンド、Vol. 155, 2008, pp 14-17.
- (34) 笹川 秀夫, 「東南アジア学会、近年の活動」アジア経済、査読無、49(10)、2008, pp57-69 .

[学会発表] (計 25 件)

- (1) 増原 善之, 「ラオスにおける上座仏教の寺院立地と出家者の移動について」京都大学CIAS共同研究・複合ユニット「〈宗教〉からみた地域像」・個別ユニット「聖なるもののマッピング」第4回合同研究会、2011年3月30日(於京都大学)
- (2) 小島 敬裕, 「中国雲南省徳宏州における寺院・出家者マッピングの現状と展望」京都大学CIAS共同研究・複合ユニット「〈宗教〉からみた地域像」・個別ユニット「聖なるもののマッピング」第3回合同研究会、2011年1月29日(於東京外国語大学)
- (3) Tosa, K. “Weikza belief and the rituals of pagoda building” (Panel: Encountering the Weikza), International Burma Studies Conference, 2010年7月6日-10日(於フランス・マルセイユ)
- (4) 高橋 美和, 「カンボジア仏教寺院と寺院止住者の現在」第4回カンボジア研究会、2010年7月4日(於京都大学)
- (5) 笹川 秀夫, 「官報にみるカンボジア仏教の展開」日本カンボジア研究会第4回研究会、2010年7月4日(於京都大学)
- (6) 笹川 秀夫, 「20世紀カンボジアにおける言語政策—正書法と新造語をめぐる議論を中心として」京都大学東南アジア研究所「東南アジア研究の国際共同研究拠点」共同研究「国家形成と地域社会—カンボジア官報を利用した総合的研究」2010年度第1回研究会、2010年11月13日(於上智大学)
- (7) 小島 敬裕, 「中国雲南省徳宏州における上座仏教の断絶と復興」平成22年度「内陸アジアの宗教復興—体制移行と越境を経験した多文化社会における宗教実践の展開」共同研究会、2010年12月18日(於国立民族学博物館)
- (8) 小島 敬裕, 「中国・ミャンマー国境地域の仏教実践と宗教政策—徳宏タイ族の事例から」東南アジア学会第83回研究大会、2010年12月4日(於東洋大学)
- (9) 小島 敬裕, 「中国雲南省における徳宏タイ族の宗教と社会—国境地域の仏教

- 徒の実践をめぐって」日本文化人類学会近畿地区研究懇談会 2010 年度博士論文発表会、2010 年 7 月 3 日（於立命館大学）
- (10) 小島 敬裕、「中国・ミャンマー国境地域における徳宏タイ族の宗教実践」2010 年度第 1 回ミャンマー軍政研究会、2010 年 5 月 18 日（於ジェトロ本部）
- (11) 小島 敬裕、「中国雲南省における徳宏タイ族の宗教実践と国境の地域社会」東南アジア学会関西地区 4 月例会、2010 年 4 月 17 日（於京都大学）
- (12) Kojima, T. “Shamanism and Buddhism in Dehong, Yunnan: The Practices of Tai Shamans, *Tsäu Lang, Tsäu Tsai and Ja Mot*” Doctor of Philosophy Program in Social Science: Religion and Social Change in Asia, March 5th, 2010 (Chiang Mai University)
- (13) 小島 敬裕、「中国・ミャンマー国境地域の仏教実践—徳宏タイ族の事例から」第 5 回松下国際スカラシップフォーラム、2009 年 10 月 31 日（於東京大学）
- (14) 笹川 秀夫、「近現代のカンボジアにおける国民文化の形成過程：改革派僧侶にとっての仏教、言語、文化遺産」同志社植民地研究会主催「ヨーロッパと日本における植民地主義と近代性」第 32 回研究会「オリエンタリストとナショナリスト：アンコール・ワットをめぐって」、2009 年 10 月 24 日（於同志社大学）
- (15) Tosa, K. “Reconsideration of the Meaning of “Tradition” and “Modernity: Indigenous Medicine in colonial Myanmar (Burma)” (Panel: Colonial Encounters from the 17th Century until 1945) ICAS, 2009 年 8 月 8 日（於：韓国太田市）
- (16) 笹川 秀夫、「近現代のカンボジアにおける国民文化の形成過程：改革派僧侶にとっての仏教、言語、文化遺産」同志社植民地研究会主催「ヨーロッパと日本における植民地主義と近代性」第 32 回研究会「オリエンタリストとナショナリスト：アンコール・ワットをめぐって」、2009 年 10 月 24 日（於同志社大学）
- (17) 笹川 秀夫、「世界遺産と文化ナショナリズム、国際武力紛争—カンボジア＝タイ間におけるプレア・ヴィヒア遺跡問題」日本国際文化学会第 8 回全国大会、共通論題 [9]「世界遺産への視線②」、2009 年 7 月 5 日（於佐賀大学）
- (18) 小島 敬裕、「中国雲南省徳宏地域における上座仏教—地域間比較研究の視点から」パーリ学仏教文化学会第 23 回学術大会、2009 年 5 月 30 日（於高野山大学）
- (19) 小島 敬裕、「中国雲南省徳宏地域における寺院と出家・在家者の活動」2008 年度第 3 回「大陸部東南アジア仏教圏の文化実践の動態をめぐる時空間の位相」研究会、2009 年 3 月 13 日（於熊本大学）
- (20) 小島 敬裕、「中国雲南省徳宏地域におけるタイ族の上座仏教と在家信者」2008 年度第 2 回「タイ文化圏における山地民の歴史的研究」研究会、2008 年 9 月 21 日（於東京外国語大学）
- (21) 高橋 美和、「カンボジア仏教寺院の社会保障機能」国際ジェンダー学会 2008 年研究大会、2008 年 9 月 14 日（於立教大学）
- (22) 小島 敬裕、「雲南徳宏地区の仏教徒社会と時空間マッピングの展望」2008 年度第 2 回「大陸部東南アジア仏教圏の文化実践の動態をめぐる時空間の位相」研究会、2008 年 8 月 1 日（於猿沢荘）
- (23) 笹川 秀夫、「東南アジア学会、近年の活動」東南アジア学会九州例会（APU 東南アジア研究フォーラムとの共催）、2008 年 6 月 27 日（於立命館アジア太平洋大学）
- (24) 小島 敬裕、「中国雲南省徳宏地域におけるタイ族の上座仏教—在家信者中心の実践をめぐって」第 79 回東南アジア学会研究大会、2008 年 6 月 7 日（於大阪大学）
- (25) 高橋 美和、「カンボジア仏教寺院に住まう俗人女性修行者—ライフコースと家族の視点から」日本文化人類学会第 42 回研究大会、2008 年 5 月 31 日（於京都大学）
- 〔図書〕（計 7 件）
- (1) 林 行夫（編著）、マッピング・データ集成 I—大陸部東南アジア仏教徒社会の時空間マッピング：寺院類型・社会移動・ネットワーク、京都大学地域研究統合情報センター、2011、634。
- (2) 林 行夫（編集協力）、静と動の仏教—スリランカ・東南アジア（新アジア仏教史 4）、佼成出版社、2011、525。
- (3) 小林 知（編著）、カンボジア村落世界の再生、京都大学学術出版界、2011、528。
- (4) 小林 知（編著）、市場経済化以後のカンボジア：経済活動の多面的な展開をめぐって、京都大学東南アジア研究 G-COE ワーキングペーパーシリーズ、2011、84。
- (5) 高橋 美和、池田 恵子、江藤 双恵（編著）、アジアの社会保護とジェンダー「開発とジェンダー」、国際ジェンダー学会、2010、24。
- (6) Takahashi, M., Ikeda Keiko, Etoh Sae (eds.) Social Protection and Gender in Asia. The International Society for Gender Studies, Japan / Working Party

- on ‘Gender and Development’、2010、
24.
(7) 水島 司、柴山 守 (共著)、地域研究の
ための GIS、古今書院、2009、226.

6. 研究組織

(1) 研究代表者

林 行夫 (HAYASHI YUKIO)
京都大学・地域研究統合情報センター・教授
研究者番号：60208634

(2) 研究分担者

柴山 守 (SHIBAYAMA MAMORU)
京都大学・東南アジア研究所・教授
研究者番号：10162645
土佐 桂子 (TOSA KEIKO)
東京外国語大学・外国語学部・教授
研究者番号：90283853
長谷川 清 (HASEGAWA KIYOSHI)
文教大学・文学部・教授
研究者番号：70208479
高橋 美和 (TAKAHASHI MIWA)
愛国学園大学・人間文化学部・教授
研究者番号：40306478
笹川 秀夫 (SASAGAWA HIDEO)
立命館アジア太平洋大学・アジア太平洋学
部・准教授
研究者番号：10435175
小林 知 (KOBAYASHI SATORU)
京都大学・東南アジア研究所・助教
研究者番号：20452287
増原 善之 (MASUHARA YOSHIYUKI)
京都大学・地域研究統合情報センター・研究員
研究者番号：90378828
小島 敬裕 (KOJIMA TAKAHIRO)
京都大学・地域研究統合情報センター・研究員
研究者番号：10586382
(H22→H23：研究協力者)